

到来する台風シー

「自分の生命と財産は

風の力が崖面の樹木から崖地盤に伝わる。
 地震動その他の振動で崖地盤の滑り出す力を増大させる。
 雨が降って土の中の水分が増すことで、
 ①土の重さが増す
 ②土の「せん断抵抗力」が減る
 ③水位の上昇で水圧が加わる

雨と崖崩れの関係

「大雨がいちばん強く降ってから1時間以内、あるいは3～4時間後を中心として、崖崩れがおきやすい」ということが統計的に知られています。ということは、雨が峠を超えてから1時間以内に崖崩れが起こらないときでも大丈夫ではない、さらに4時間前後は危険は去っていないということです。

こんな崖地があぶない

お願い

各家庭に設置されている防災行政無線戸別受信機の乾電池は、毎年9月1日の「防災の日」を機やすとして1年に1回は取り替えましょう。

地震が発生した場合

0分～2分	生命を守る時間	命を守る時間
2分～3分	家を守る時間 (自宅の初期消火など)	
3分～15分	町を守る時間 (他人の家を守るための初期消火など)	
15分～半日	緊張の時間	2次災害を防ぐ時間
半日～3日	生活の時間	
3日～	復旧の時間	
		生活をとりもどす時間

地震時の行動10箇条

- ① テーブルなどの下に身をふせましょう。
- ② 火の始末をしましょう。
- ③ 戸を開けて出口を確保しましょう。
- ④ 慌てて外にとび出さないようにしましょう。
- ⑤ 我が家の安全隣りの安全互いに声をかけあいましょう。
- ⑥ 火が出たらすばやく消火しましょう。
- ⑦ せまい路地・門・塀には近寄らないようにしましょう。
- ⑧ 室内のガラスの破片に気をつけましょう。
- ⑨ 協力しあって応急救護をしましょう。
- ⑩ 避難は徒歩で持ち物は最小限にしましょう。

9月6日に防災訓練を行います。

当日は防災行政無線によりお知らせしますので、町民の皆さんも是非参加ください。

町の災害による被害状況

区分	秋雨前線並びに台風25号に関する異常気象 (昭和46年9月6～7日)		千葉県東方沖地震 (昭和62年12月17日)	台風21号及び秋雨前線による長雨 (平成3年11月11～13日)
	人的被害	死者 3人 負傷者 4人	0人	0人
住宅被害	全壊	24棟 91人	0棟 0人	0棟 0人
	半壊	15棟 70人	0棟 0人	1棟 6人
	一部破損	25棟 124人	546棟 2,184人	1棟 7人
	床上浸水	52棟 200人	0棟 0名	0棟 0人
	床下浸水	190棟 853人	0棟 0名	42棟 156人
文教施設	2箇所	5箇所	0箇所	
道路	37箇所	6箇所	2箇所	
崖崩れ	138箇所	4箇所	28箇所	